



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



NEXCO
西日本

第17回 技術シンポジウム

新技術で拓く インフラ長寿命化

リニューアル戦略と性能回復・蘇生への挑戦

～持続可能な社会を支えるインフラの未来～

令和7年

11月17日(月) 13:30～17:20
開場時間 13:00

アクロス福岡 B2F イベントホール
(福岡市中央区天神1-1-1)

プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶
- 13:35～14:10 講演1 『持続可能な社会の実現に向けた資源循環・廃棄物処理システムの研究』
中山 裕文(九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 教授)
- 14:10～14:45 講演2 『鋼構造の耐震・長寿命化に資する『耐疲労鋼』の研究開発』
吉中 奎貴(国立研究開発法人 物質・材料研究機構 構造材料研究センター 材料創製分野 加工熱処理プロセスグループ 主任研究員)
- 15:00～15:35 講演3 『新たな技術を活用した鉄道インフラの効率的な設備診断』
庄野 真也(西日本旅客鉄道株式会社 施設部 施設技術室 担当課長)
- 15:35～16:10 講演4 『高経年化する送電鉄塔の保全技術の高度化』
善甫 遼(東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所 技術開発部 材料・化学エリア)
- 16:25～17:00 講演5 『重度腐食した耐候性鋼材の素地調整におけるアブレイシブ・ウォータージェット新技術の実用展開』
豊田 雄介(西日本高速道路株式会社 関西支社 保全サービス事業部 改築第二課 課長代理)
- 17:00～17:15 学生アイデア発表
道路工学実践教室 最優秀班
- 17:15～17:20 閉会挨拶

開催方法

会場開催のみとなります。

会場開催

HPの「シンポジウム参加申し込み」からお申し込みください。

※事前申し込みのない方の当日参加はお断りいたします。

※土木学会認定CPDプログラム(認定番号 JSCE25-1074)

申込み先

※その他注意事項も併せてご確認ください。

<https://www.kyushu-u-nexco.jp/index.html>

申し込み締め切り 11月7日(金)



主催：九州大学 共催：西日本高速道路株式会社
後援：国土交通省九州地方整備局、(公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部
(一社)九州橋梁・構造工学研究会、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
(一社)日本建設業連合会九州支部、(一社)九州地域づくり協会
お問合せ先：西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社 企画課
kikaku@w-e-kyushu.co.jp



第17回技術シンポジウム

新技術で拓くインフラ長寿命化 ひら リニューアル戦略と性能回復・蘇生への挑戦 ～持続可能な社会を支えるインフラの未来～

近年、高度経済成長期に集中的に整備された社会インフラの老朽化が進行しており、これらの適切な維持管理・更新は、技術者にとってこれまで以上に重要な課題となっています。インフラの維持管理における課題の背景には、必要な財源の不足、技術者の減少、さらには地震や豪雨などの災害リスクの増大といった複合的な要因が存在します。これらの課題に対し、従来の手法だけでは対応が困難となっており、新たな技術や戦略の導入が求められています。

本シンポジウムでは、「新技術で拓くインフラ長寿命化：リニューアル戦略と性能回復・蘇生への挑戦～持続可能な社会を支えるインフラの未来～」をテーマに、インフラ分野の第一線で活躍する専門家をお招きし、最新の技術や知見をご紹介いただき、多角的な視点からインフラの未来を展望します。

本シンポジウムを通じて、インフラの長寿命化に向けた新たな視点や革新的な解決策を共有し、持続可能な社会の実現に向けて、参加者の皆様とともに知見を深める貴重な機会としたいと考えております。

講演者略歴



中山 裕文 (なかやま ひろふみ) 九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 教授

1999年、九州大学大学院工学研究科都市環境システム工学専攻博士後期課程を修了、博士（工学）。同年、日本学術振興会特別研究員（JSPS）を経て、2000年より九州大学大学院工学研究院に勤務。以来、環境システム学、資源循環・廃棄物工学の教育・研究に従事している。研究テーマは、資源循環・廃棄物システムの環境・経済評価、IoT技術を活用した資源循環の高度化、最終処分場の環境安全性評価など。



吉中 奎貴 (よしなか ふみよし) 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 構造材料研究センター 材料創製分野 加工熱処理プロセスグループ 主任研究員

2013年北海道大学工学部卒業、2015年同大学大学院工学院博士前期課程を修了。2018年同大学大学院工学院博士後期課程修了、博士（工学）取得。博士課程では放射光測定技術を用いたチタン合金の超長寿命域における疲労特性を研究。同年より国立研究開発法人物質・材料研究機構 構造材料研究拠点（現構造材料研究センター）に所属し、疲労耐久性に優れた合金の開発・評価に関する研究に従事。



庄野 真也 (しょうの しんや) 西日本旅客鉄道株式会社 施設部 施設技術室 担当課長

2002年西日本旅客鉄道株式会社に入社し、在来線の保線現場区所に配属。鉄道本部施設部保線課、(公財) 鉄道総合技術研究所出向で軌道の材料設計を担当。2015年鉄道本部施設部施設技術室で画像解析などの技術開発を担当し、鉄道本部施設部保線課課長代理、下関保線区長を経て、2023年から現職。生産年齢人口減少の社会的課題に対し、画像解析や点群測量を活用した鉄道設備点検の生産性向上に資する技術開発を担当している。



善甫 遼 (ぜんぼ りょう) 東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所 技術開発部 材料・化学エリア

2014年、芝浦工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻修了。同年から、高周波熱錬㈱（鉄鋼材料熱処理メーカー）にて製品の不具合調査業務に従事。2019年から旭化成㈱にてプラント設備の設備材料に関する問題解決業務に従事。2024年から東京電力ホールディングス㈱にて送電設備や水力発電設備の設備材料トラブルの技術支援に従事。現在に至る。



豊田 雄介 (とよた ゆうすけ) 西日本高速道路株式会社 関西支社 保全サービス事業部 改築第二課 課長代理

2011年に西日本高速道路株式会社に入社し、高速道路の維持管理や新規建設工事に従事。2015年から株式会社高速道路総合技術研究所に出向し、橋梁の補修技術等に関する研究に従事。復職後は関西支社建設事業部、本社技術本部技術環境部を経て、2023年より現職。関西支社内の耐震補強事業を始めとした橋梁の改築事業に従事。